

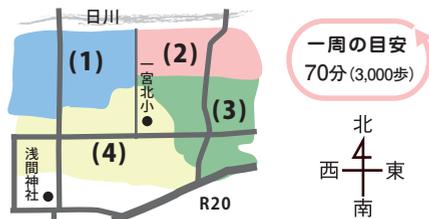
地域再発見 ウォーキングマップ

— 地域の日常にあるキラリと光るお宝を地域資源として活かしていくためのウォーキングマップです —

笛吹市一宮北地区

(1) 上矢作

(2)北野呂、(3)南野呂、(4)中尾地区のマップもあります。



一周の目安
70分(3,000歩)



かみ や はぎ 上矢作

矢作 (やはぎ) は、古代の地名の遺称と思われ、弓の矢を作った集落と言われています。



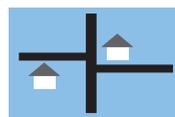
①青楓美術館 (せいふうびじゅつかん)
ぶどう畑の中の小さな建物。山梨県で2番目に古い美術館です。白い壁には楓のレリーフが飾られています。津田青楓は、夏目漱石や与謝野晶子と交流のあったマルチ芸術家です。



②矢作竹 (やつくりだけ)
唐土神社を囲む生け垣は、矢作の語源でもある矢作竹が植えられています。今でも10月の祭典には子供たちがこの竹を使って作った破魔矢が配られます。



③唐土神社 (とうとじんじゃ)
素盞鳴尊 (スサノオノミコト) を祭神とし、参道が西向きになっているのは、渡来系だからでしょうか。鳥居の額束 (がくづか) の唐の文字と脇の大きなケヤキの木に注目してください。



④当て曲げの辻 (あてまげのつじ)
上矢作の旧道には、あえてずらした交差点があります。見通しを悪くするなど防衛上の目的があると言われていますが、実際に辻に立って確かめてみてください。



⑤スズラン酒造工業 (すずらんしゅぞうこうぎょう)
木立に囲まれた赤煉瓦の倉庫が目印です。明治38年に設立されました。平成16年に農業生産法人となり、県下数カ所の自社農園で栽培したワイン専用品種にこだわった赤ワインが特徴です。



⑥矢作洋酒 (やはぎようしゅ)
県道沿いにある古いお蔵造りの白壁に、ぶどうの枝の「YAHAGI」が目印です。有機栽培のぶどうを過、醸造過程にこだわった無添加ワインが特徴です。大正3年から家族ぐるみでワイン造りに取り組んでいます。



⑦秋葉山 (あきはさん)
火防 (ひよけ)・火伏せの神として広く信仰される秋葉山は、浜松市の霊地です。度重なる大火に見舞われた地域では、秋葉講を結成し、秋葉山に参詣しました。



⑧鍾馗さん (しょうきさん)
京都を中心に、近畿～中部地方で屋根の軒先に10～20cm大の瓦製鍾馗人形が置いてあります。中国伝来の道教の神様で、お寺や神社の周囲、道の突き当たりに「疫病除け」として置かれ、県内では珍しいものです。



⑨聖天尊 (しょうてんそん)
聖天さんは別名を歓喜天と言い、象の頭を持った男天・女天の2体が抱き合う姿をしています。お堂の天井には極彩色の絵が描かれ、壁には俳句の扁額が掛かっています。お祭りは3月のお彼岸頃です。

★水路の謎…上矢作の集落内には水路が張り巡らされ、東から西、北から南、南から北へと水の流れを調整しています。水への畏敬の念とともに、水を活かす工夫が見られます。